

參考書目

(一) 中文文獻

Arend, Lijphart. 1984, *Democracies: patterns of majoritarian and consensus Government in twenty-one countries*. 有中譯本，1993，陳坤森譯，《當代民主類型與政治》，台北：桂冠。

盛杏媛，2003，〈立法機關與行政機關在立法過程中的影響力：一致政府與分立政府的比較〉，《台灣政治學刊》，第7卷第2期，頁51-105。

黃秀端，2002，〈立法院內的投票結盟：政黨輪替前後的比較〉，「全球化與台灣政治」學術研討會，嘉義：台灣政治學會。

黃秀端，2003，〈少數政府在國會的困境〉，《台灣政治學刊》，第7卷第2期，頁3-49。

楊婉瑩，2003，〈一致性到分立政府的政黨合作與衝突——以第四屆立法院為例〉，《東吳政治學報》，第16期，頁47-93。

歐陽晟，2008，〈政府型態對於議案審議的影響：台灣一致政府與分立政府的比較〉，政治大學政治學研究所博士論文。

(二) 日文文獻

大山礼子. 1999. 「参議院改革と政党政治」『レヴァイアサン』第25号, 103-122頁。

大嶽秀夫. 1999. 『日本政治の対立軸』中公新書。

丸山健. 1968. 「参議院と政党」『ジュリスト』第393号, 36-40頁。

山口二郎. 1989. 『一党政治の崩壊』岩波書店。

- 上代庸平. 2008. 「ドイツ議会制度の特色と現代的課題—ドイツ型二院制と党派議会」『主要各国議会の現状』19-29 頁, 衆議院調査局。
- 中馬瑞貴. 2008. 「ロシア連邦議会の現状と問題点」『主要各国議会の現状』, 38-45 頁, 衆議院調査局。
- 手塚崇聡. 2008. 「カナダ下院における『ねじれ』とその問題」『主要各国議会の現状』1-9 頁, 衆議院調査局。
- 水戸克典. 1995. 「わが国の国会における政策形成機関に関する分析」『慶應義塾大学大学院法学研究科論文集』第 36 号, 235-237 頁。
- 市村充章. 2000. 「参議院の役割と選挙制度の再検討」『議会政治研究』第 56 号, 17-27 頁。
- 市村充章. 2001. 「参議院選挙制度と選出議員」『議会政治研究』第 58 号, 17-34 頁。
- 只野雅人. 2006. 「単一国家の二院制—参議院の存在意義をめぐって」『ジュリスト』第 1311 号, 27-35 頁。
- 本田雅俊. 2004. 「二院制と参議院の政治の意義—天皇制の藩屏から政権の安全弁へ」『議会政治研究』第 70 号, 7-16 頁。
- 本田雅俊. 2006. 「有識者の語る『あるべき参議院の姿』」『議会政治研究』第 80 号, 1-11 頁。
- 世木義之. 2007. 「参院審査中の法律案に衆院の『みなし否決』の再考」『議会政治研究』第 81 号, 31-50 頁。
- 竹中治堅. 2006. 『首相支配—日本政治の変貌』中公新書。
- 竹中治堅. 2008. 「首相と参議院の独自性：参議院封じ込む」『選挙研究』第 23 号, 5-19 頁。
- 吉田早樹人・松下和史等. 2005. 「各国議会の二院関係特集」『議会政治研究』第 76 号, 13-48 頁。

吉田武弘. 2008. 「戦後民主主義と『良識の府』—参議院制度成立過程を中心に」
『立命館大学人文科学研究所紀要』第 90 号, 155-176 頁。

成田憲彦. 2001. 「日本の連立政権形成における国会の論理と選挙制度の論理」
『選挙研究』第 16 号, 18-27 頁。

成田憲彦. 2004. 「『反省の院』と『国民代表機関』は両立しえない」『中央公論』
第 1440 号, 126-141 頁。

成田憲彦. 2008. 「自民党型立法システムの崩壊」『論座』第 153 号, 80-85 頁。

芦田淳. 2008. 「イタリア議会の現状と課題」『主要各国議会の現状』30-37 頁,
衆議院調査局。

杉原泰雄. 1968. 「参議院の制度と権能」『ジュリスト』第 393 号, 26-35 頁。

作間忠雄. 1968. 「両院制—参議院の存在理由」『ジュリスト』第 393 号, 21-25 頁。

佐々木勝実. 2008. 「『ねじれ国会』と両院協議会」『議会政治研究』第 85 号, 1-16
頁。

村松岐夫・伊藤光利・辻中豊. 2001. 『日本の政治』(第二版)有斐閣。

岩切大地. 2008. 「イギリス議会下院の現状について」『主要各国議会の現状』
46-53, 衆議院調査局。

待鳥聡史. 2002. 「参議院自民党と政党再編」『レヴァイアサン』第 30 号, 67-89
頁。

待鳥聡史. 2008. 「『多数主義』時代の二院制を再考する」『論座』第 152 号, 26-32
頁。

前田英昭. 2000. 「二院制—参議院の役割と『自主性』」『ジュリスト』第 1177 号,
37-43 頁。

浅海伸夫. 2004. 「改革を怠り, 時に暴走した一〇年間」『中央公論』第 1440 号,
134-141 頁。

- 高見勝利. 2001. 「国会改革の前提と課題」『ジュリスト』第 1192 号, 148-157 頁。
- 原田一明. 2007. 「憲法改正論議の中での両院制」『議会政治研究』第 82 号, 8-15 頁, 衆議院調査局。
- 原田一明. 2008. 「衆議院の再議決と憲法五十九条」『議会政治研究』第 86 号, 1-10 頁。
- 峯山昭範. 1986. 『参議院：21 世紀に向けてその本質を考える』啓文社。
- 倉田寛之. 2003. 「二院制と参議院の権能」『議会政治研究』第 68 号, 1-9 頁。
- 野中尚人. 2008. 「政策決定過程の持続と変容」『日本・韓国』ミネルヴァ書房。
- 富井幸雄. 2007. 「カナダの上院—憲法と第二院（一）」『法学会雑誌』第 42 巻第 2 号, 35 頁。
- 森田重郎. 1984. 『参議院：その存在意義と問題点』ぎょうせい。
- 飯尾潤. 2004. 「二院制の利点を生かす参議院改革が急務だ」『中央公論』第 1443 号, 30-33 頁。
- 『衆議院ロシア等欧州各国及びイスラエル憲法調査議員団報告書』2001. 25-27 頁。
- 新井誠. 2008. 「フランス共和国の議会制度」『主要各国議会の現状』10-18 頁, 衆議院調査局。
- 福元健太郎. 2002. 「二院制の存在理由」『レヴァイアサン』第 30 号, 90-114 頁。
- 福元健太郎. 2006. 「参議院に存在意義はあるか」『中央公論』第 1471 号, 230-239 頁。
- 蒲島郁夫. 1988. 『政治参加』東京大学出版会。

(三) 英文文獻

- Binder, Sarah A. 1999. "The Dynamics of Legislative Gridlock, 1947-96." *American Political Science Review* 93 (3): 519-33.
- Cox, Gary W. and Samuel Kernell. 1991. "Introduction: Governing a Divided Era," In Gary W. Cox & Samuel Kernell eds.. *The Politics of Divided Government*, Boulder, CO: Westview Press.
- Edwards, George C., III. Andrew Barrett, and Jeffrey P. Eake. 1997. "The Legislative Impact of Divided Government." *American Journal of Political Science* 41 (2): 545-63.
- Elgie, Robert. 2001. *Divided Government in Comparative Perspective*, New York: Oxford University Press.
- Fiorina, Morris P. 1996. *Divided Government*. Boston: Allyn and Bacon.
- Gerhard Loenenberg and Samuel C. Patterson, 1979. *Comparing Legislatures*. Boston : Little, Brown: 120-125.
- Howell, William, Scott Adler, Charles Cameron, and Charles Riemann. 2000. "Divided Government and the Legislative Productivity of Congress, 1945-94." *Legislative Studies Quarterly* 25 (2): 285-312.
- Jean Blondel. 1973. *Comparative Legislatures*. Englewood Cliffs, N.J. : Prentice—Hall: 32-35.
- Jones, Charles. 1994. *The Presidency in a Separated System*. Washington, DC: Brookings Institution.
- K. C. Wheare, 1963. *Legislatures*. New York: Oxford University Press.
- Kelly, Sean Q. 1993. "Divided We Govern: A Reassessment." *Polity* 25 (1): 475-84.
- Krehbiel, Keith. 1996. "Institutional and Partisan Sources of Gridlock: A Theory of Divided and Unified Government." *Journal of Theoretical Politics* 8:7-40.
- Laver, Michael., and Kenneth A. Shepsle. 1991. "Divided Government: American is not 'exceptional'." *Governance* 4: 250-269.

Mayhew, David R. 1991. *Divided We Govern: Party Control, Lawmaking, and Investigations, 1946-1990*. New Haven: Yale University Press.

McCubbins, Mathew D. 1991. "Government on Lay-Away: Federal Spending and Deficits under Divided Party Control." In Gary W. Cox and Samuel Kernell eds., *The Politics of Divided Government*. Boulder, CO:Westview.

Robert S. Parker. 1976. "Political Projections and Partisan Perspectives." *Politics* 11, No.1 : 15.

Stewart, Charles H.III. 1991. "Lessons from the Post-Civil War Era." In Cox and Kernell eds., *The Politics of Divided Government*. Boulder, CO:Westview.

Sudquist, James L. 1992. *Constitutional Reform and Effective Government*, Rev. ed. Washington, DC:Brookings Institution.

